

「祈り続けよう」

5 また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。』

6 旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』

7 すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』

8 しかし、言っておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。

9 そこで、わたしは言っておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

10 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

11 あなたがたの中に、魚を欲しがらる子供に、魚の代わりに蛇を与える父親がいるだろうか。

12 また、卵を欲しがらるのに、さそりを与える父親がいるだろうか。

13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

主の祈りに続いて、祈りについての学びが継続しています。イエス様は得意のとえ話で教えてくださいました。

5 また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいる、真夜中にその人のところに行き、次のように言ったとしよう。『友よ、パンを三つ貸してください。』

6 旅行中の友達がわたしのところに立ち寄ったが、何も出すものがないのです。』

7 すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒をかけないでください。もう戸は閉めたし、子供たちはわたしのそばで寝ています。起きてあなたに何かをあげるわけにはいきません。』

8 しかし、言っておく。その人は、友達だからということでは起きて何か与えるようなことはなくても、しつように頼めば、起きて来て必要なものは何でも与えるであろう。

1)この人の求めは「他者への支援のため」

結論から言うと、この人の願いは聞き届けられます。つまり「いのりは応えられる」わけです。

そして注意すべきは、この人の願いが自分の必要物のためではなく、他者を支援するための必要物を求めている点です。自分のための必要物も応えられるはずですが、ここでは「他者への支援」のための必要をもとめる姿勢と、分かち合いのための熱心な願いはきっと応えられると言うことが強調されています。自分の必要物だけでなく、他者への祝福の分かち合いのための必要物のために取るべき態度がここに教えられています。まずは熱心に求めること。

2)「求め続け、探し続け、叩き続けるという姿勢

9 そこで、わたしは言っておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

10 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

熱心に求めるということについては「求め続ける」という継続的な姿勢が教えられています。

他者の祝福のために継続的に求め続け、探し続け、叩き続ける姿勢こそ求められています。

それによって祝福の分かち合いが可能になり、祝福が自分にもかえってきます。

一度願えばそれで終わりというのではなく、願い続け、求め続ける姿勢と継続が重要です。

そこには自分だけのために生きているわけではないということ自分をうなづく意識と

誰かが自分の必要のためにも祈ってくれているという安心感を味わう大切な要素があります。

あなたのために祈ってくれている人がいるのです。あなたは守られてきたし、守られているとも考えることができるのでしょ

3) 気前の良い神さまをしっかりと認めて求めること

さらにイエス様は、私たちが祈る時、絶対に忘れてはならないことを語りました。

それは父なる神様の思いやり深さと気前の良さです。

11 あなたがたの中に、魚を欲しが

12 また、卵を欲しが

13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

地上における父親にまさる愛を持ち、豊かな祝福を与えようとしておられる神様を信頼すること。

必要以上に「遠慮しないこと」必要以上に「自己否定しないこと」は本当に大切です。

他者の健康、平安、祝福を願いつつ継続的に祈り続けましょ

あなたの心のなかに浮かぶ人たちのために、ちょっと時間をとって、祝福を祈り、必要が満たされるように祈りましょ

この聖句は、あなたに何を語ってくれましたか？

5 また、弟子たちに言われた。「あなたがたのうちのだれかに友達がいて、真夜中にその人のところに行き、次のように言

6 旅行中の友達がわたし

7 すると、その人は家の中から答えるにちがいない。『面倒を

8 しかし、言うておく。その人は、友達だからということでは起

9 そこで、わたしは言うておく。求めなさい。そうすれば、与え

10 だれでも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく

11 あなたがたの中に、魚を欲しが

12 また、卵を欲しが

13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」

MACF 礼拝映像はこちらです

<https://youtu.be/6jKI9MdmVlg>